洗礼式が表す神の救い

熊本聖書フォーラム 2020年7月26日

洗礼は罪や汚れを洗い流すものではない

- 人は神を信じたとき、すべての罪と汚れから清められた
- これを「救われる」または「義と認められる」という
- 洗礼は、すでに救われた信者が受けるもの
- ・バプティゾー(動詞)
 - = あるものを何かの中(水など)に沈める
 - 使徒1:5(直訳)「ヨハネは水の中にバプティゾーしたが、あなたがたは、もう間もなく、聖霊の中にバプティゾーされるであろう」

人はどのようにして救われるのか

- 人は、信仰を通して、神の恵みによって救われる
- 恵み = 人の働きや行いによるのではない
- 創世記15:5~6 主のことばとアブラムの信仰 「さあ、天を見上げなさい 星を数えることができるなら、それを数えなさい あなたの子孫はこのようになる」 アブラムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

何を信じるのか

- •神のことば、神の約束
- 人が考えたものではなく、神が人に啓示したもの
- ・神のことばを受け取り、書き記す役割→アブラムの子孫であるイスラエルの民に→聖書
- 聖書の啓示は、時代によって進展してきた
- •信仰の内容は、時代によって変わる

今の時代は、何を信じるのか

今の時代は何を信じるのか

福音の3要素(Iコリ15:3~4)

- キリストは、私たちの罪のために死なれた
 世の罪がすべて、キリストの上に置かれ、
 キリストが、贖罪の死を遂げてくださった
- 2. キリストは、**墓に葬られた**(仮死ではなかった・無罪)
- 3. キリストは、3日目によみがえられた(復活・永遠の体)

洗礼を受ける資格

- •信仰を通して、神の恵みによって救われた人
- その信仰の内容は、福音の3要素
- キリストを信頼し、これからの人生をキリストに従って歩みたいと願う人
 - ▶キリストに従うことで救われるのではない
 - ▶不従順だからといって救いを失うこともない
 - ▶神による救いは、一時的ではなく、永遠の救い
 - ▶不従順に対しては、父が子を躾けるように、神は信者を訓練される(信者であればこそ、愛の訓練を受ける)

洗礼が象徴する5つのこと

- 1. イエスの御名によって受ける
- 2. 水を用いて
- 3. 水の中に沈む
- 4. 水の中から上がる
- 5. キリストにつぎ合わされた

1一① イエスの御名によって受ける

主・イエス・キリストの御名によって洗礼を受ける

- •マタ28:19「父、子、聖霊の御名(単)によって」
- 使徒 2:38「イエス・キリストの名によって」
- 使徒 8:16「主イエスの御名によって」
- このお名前によって洗礼を受けるのは

私たちは信じたときに、

キリストの所有となった このことを象徴するため

1-② 主・イエス・キリスト

主

旧約聖書で神を表すヘブル語を、日本語で「主」と訳す。 イエスは、神が人となられたお方

イエス

個人名イェシュア(ヨシュア)。ユダヤ人男性では一般的な名。

キリスト

ギリシヤ語で「油注がれた者」、ヘブル語では「メシア」 油は、神の霊である聖霊を象徴 イスラエルの歴史では、王は任命されるときに油を 頭に注がれた イスラエルの救助者、イスラエル王国を再興する王を指す呼称

1-③ 信者はキリストのものとなった

- I コリ3:23 「あなたがたはキリストのものであり、 キリストは神のものです。|
- ヨハネ10:29 (イエスのことば)「わたしに彼らをお与えになった父は、・・・」「だれもわたしの父の御手から独らを奪いまることはできません。」

彼らを奪い去ることはできません。」

信者は、受けた救いを自分で捨てることも不可能

2 水を用いて

 ・ コリ6:11 主イエス・キリストの御名によって そして、私たちの神の御霊によって <u>あなたがたは洗われ</u>、聖なる者とされ、 義と認められたのです。

主イエス・キリストの御名を信じたとき、その瞬間、 その人は<u>聖霊の中に浸され</u>、**罪が洗い清められた**

3 水の中に沈む

・聖霊の中に浸されたされたということは、 信じたときに**死んだ**ということ 人が水の中に浸けられたら死ぬのと同じ

ロマ6:3 キリストの死にあずかるバプテスマ

ロマ6:4 キリストとともに葬られた

信じたときに、キリストと共に死んで葬られた

4-① 水の中から上がる

ㅁマ6:4

- キリストが 御父の栄光によって 死者の中からよみ がえられたように
- 私たちも <u>いのち (新しい性質) にあって</u> 新しい歩みをする

信じたときに、新しい性質を与えられ、 新しい歩みをすることができるようになった

4-② 新しい性質によって歩む

- 自分の力で新しい歩みをするのではない
- 父なる神が、キリストをよみがえらせたように
- •信者も、父なる神から与えられた いのち(新しい性質)にあって 新しい歩みをするのである

では、信者の内に残っている罪の性質はどうなるか

4-③ 罪の性質は無力化した

ㅁマ6:6

- ・古い人(罪の性質)は、キリストとともに十字架につけられて、滅んだ【無力化した】
- 罪の性質は、なくなってはいないが、 信者を支配する力を失っている
- 罪の性質を小さくしよう、無くそうとする努力は無駄 人にはできない、むしろ罪の性質が暴れ出す
- •信者は、新しい性質に従って歩むという選択をしていく

もし、罪の性質に従ってしまったら

I ヨハネ1:9

- •気づいたとき、すぐに
- その日を振り返って、寝る前に
- •父なる神に祈り、自分の罪を言い表す
- •言い表すとは、自分の言動や思いが神のみことばに照らして罪でありましたと認めること(反省や誓い**※**)
- そうすると、気づいていない罪も含めてすべての悪から清められる(信仰生活とは継続的な祈りと清め)

5. キリストにつぎ合わされたこと

ㅁマ6:5

- キリストとつぎ合わされて
- キリストの死と同じようになっているのなら
- 必ずキリストの復活と同じになる

必ず、不死の栄光の体を与えられ、 再びこの地上に立ち、メシアの王国に入る

まとめ 洗礼が象徴する5つのこと

- 1. →私たちはキリストのものとなった
- 2. →私たちの罪は洗い清められた
- 3. →キリストとともに死んで葬られた
- **4.** →キリストがよみがえられたように、いのち (新しい性質) にあって新しい歩みをする
- 5. →必ずキリストの復活と同じになる